

## 公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」女池神明校			
○保護者評価実施期間	2025年11月13日 ~ 2025年12月13日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	71	(回答者数)	51
○従業者評価実施期間	2025年11月10日 ~ 2025年11月29日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年1月14日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用者様お一人おひとりの状況や特性を踏まえ、適切な個別支援計画を作成しております。	定期的にモニタリング等を実施し、お子さま一人ひとりの特性や発達段階に応じた支援計画を作成しております。 また、「できた」「また来たい」と感じていただけるよう、達成感を大切にした課題設定を行っております。	引き続き、特性や発達段階に応じた課題設定が行えるよう、専門スタッフとの連携を密にし、一人ひとりに適した専門的な支援の充実に努めてまいります。
2	職員間において、日頃より情報共有を密に行っております。	事業所ミーティングやケース会議、日々の情報交換を通して、職員間での情報共有を図っております。	引き続き、職員間での情報共有を密に行い、お子さまへの支援および保護者様への支援の充実につなげてまいります。
3	保護者の皆さまへの支援体制の充実を図っております。	支援終了後には、当日の活動内容や最近の状況等について共有する時間を設けております。 併せて、月1回、子育てサポートとして直接支援の見学の機会を設けております。	引き続き、保護者様との連携を密にし、お子さまの発達段階や具体的な対応について、共通理解の形成に努めてまいります。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われる	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員配置につきまして、十分な余裕を確保できていない状況がございました。	法令を遵守した職員配置は確保しているものの、十分な余裕がない状況であるため、体調不良等により人員不足が生じた際には、1日の定員調整が必要となる場合がございました。	他教室との連携・協力を図りながら、適切な調整を行ってまいります。
2	支援スペース間の音の影響により、声が聞き取りづらい場面が生じることがございました。	個室の確保が難しい状況にあり、声の反響等が生じる場面がございました。	声の大きさ等に配慮し、必要に応じて声かけを行うことで、すべての利用者様が集中して活動に取り組める環境づくりに努めてまいります。
3	防災訓練やSNS更新等の活動に関し、十分な周知が行き届いていない状況がございました。	更新や掲示にとどまっていたため、皆さまへの十分な周知が行き届いておりませんでした。	SNSアカウントのご案内やLINE等を活用し、より分かりやすい周知に努めてまいります。

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果								
事業所名		2026年2月14日						
						利用児童数	回収数	
		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	43	8	0	0	・狭い中でも仕切られていたり、隠してあつたり工夫してあると思う。 ・広くスペースを取れるように工夫されていると思います。	引き続き、活動しやすい環境を設定していきます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	39	12	0	0	・人数が足りず大変そう。 ・もう少しいれたら、先生方も支援しやすいのかとも感じます。 ・お休みをお願いされたことがあった。 ・職員が足りずお休みになるときがあるので、余裕持っていたらありがたい。 ・お休みを依頼されることがたまにあり、他の日の振替は難しい。 ・職員の数が足りないのかな、と感じることがある。 ・時々職員が足りなくて違う日にしてほしい要望があるから。 ・振替は難しく、利用日数が減るかは。	法令を遵守した適切な配置はありますが、なるべく利用者様へお休みのお願いなどご迷惑をお掛けしないよう、他校舎へ協力を仰ぎながら調整を図っていきます。
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているだと思いますか。	48	3	0	0	・机上課題をする空間と体を動かしたりする空間が分かれているので、子供達に分かり易いと思います。	引き続き、ご利用者様に分かり易い環境設定に努めてまいります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	49	1	0	1	・1つのフロアをパーテーションで仕切って活動していますが、一人一人の声がフロア内に行き交っていて先生の声が聞こえにくいかなあと感じることがあります。 ・フロアの広さがもう少し広かったり、各々のスペースをもう少ししっかり仕切れるといいのかなあと思います。	現状の空間では出来る限りの配置となっていますが、職員間で声をかけあい、利用者様全員が快適に過ごせるように話し声のボリュームなどについてルールを明確にしていきます。
適切な支援の提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援を受けられていると思いますか。	50	1	0	0	・子供の事をよく理解して合わせた課題をしてくれていると思う。	引き続き、専門的な支援を提供していきます。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	48	0	0	3		
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	49	2	0	0		
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	46	2	0	3		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	48	2	0	3		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	45	5	0	1		
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	5	7	16	23		
保護者への説明	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	49	1	0	1		
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	50	0	0	1		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレンツ・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	36	7	1	7		
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	50	1	0	0		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	48	3	0	0		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	47	2	0	2		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	23	12	1	15		

等 等	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	48	2	0	1		
	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	48	2	0	1		
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	32	6	0	13	・私が見ていないので分かりません…。	インスタグラムなども活用しておりますので、分かり易いようにお知らせしていきます。
	22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	49	0	0	2		
非常時等の対応	23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	34	3	2	12		
	24 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	32	5	2	12		
	25 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	45	1	0	5		
	26 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	37	3	0	11		
満足度	27 こどもは安心感をもって通所していますか。	48	3	0	0		
	28 こどもは通所を楽しみにしていますか。	40	7	2	2	・本人の気分によって行きたくない等の気持ちが生まれる時がある。 ・学校を行けない日でもきらりさんは行きたいと言ってます。対応していただけ助かります。	今後も「きらりに行きたい」と思っているだけの教室運営・支援提供に努めてまいります。
	29 事業所の支援に満足していますか。	49	1	0	1	・いつもありがとうございます。 ・残りの2年半、少しでも自立し社会に出来れるようご指導お願いします。	引き続き、利用者様の将来に役立つ支援が出来るよう職員一同尽力して参ります。

## 公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		こどもサポート教室「きらり」女池神明校				公表日	2026年 2月 14日		
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○						
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		・安全面に配慮が必要な利用者様には2名体制で支援を行っています。	・利用者様に対して職員の数が足りないことがあります。他教室からヘルプをもらしながら運営しています。			
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		・各支援スペースや面談室などに名札をつけて一目見てわかるようになっています。	・どの年代にも理解できるように名称の工夫が必要だと感じる部分もあるため、今後変更も検討していきます。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・加湿器などを定期的に清掃して清潔に保っています。 ・支援の空き時間でこまめに清掃を行い、清潔な空間の維持に努めています。 ・運動面の発達向上を促す場合、パーテーションを移動させるなどの工夫をして言います。	・ホワイトボードの脚が突出しており足を引っかける要因となるため、利用者様への声掛けに努めています。			
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○						
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		・事業所ミーティングを定期的に開き、職員全員で話し合っています。				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・保護者向け事業所評価を行って、意向などを把握しています。 ・定期的にアンケートを取り、現状把握と業務改善に努めています。				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・定期的な事業所ミーティングや事業所評価を通して職員の意見を聞き取り、必要に応じて業務改善につなげています。				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	・事業所評価アンケートを行っています。	・外部からの評価を受ける機会があまりありません。 ・内部での評価がメインとなっています。			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・定期的な研修の機会が設けられています。				
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○						
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		・定期的にアセスメントを行い、ご利用者様のニーズに沿って個別支援計画を作成いたします。				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・計画作成会議を職員全員で行い、利用者様にとって最善の支援を検討しています。 ・計画作成会議、ケース会議を行い、職員全員で共通理解を図れるようにしています。				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○						
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○						
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		・利用者様の意向に沿った支援内容を各項目ごとに設定しています。				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○						
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		・担当を固定にせず、複数人の指導員で支援を行うことでプログラムの固定化を防いでいます。				
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		・基本的には個別活動がメインとなっておりますが、必要に応じて活動内で集団活動を行っております。				

	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		・支援内容の引き継ぎを毎回行っています。 ・定期的に事業所ミーティングを行い、連携を図っています。	
	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		・支援内容の引継ぎを毎回行っています。	
	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		・取り組んだ内容やその時の様子を記録しています。	
	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		・定期的にモニタリングを行い、適切に個別支援計画を見直しています。	
	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	○			
	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		・自己決定を尊重しています。	
関係機関や保護者との連携	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参加しているか。	○		・基本的に児発管が参加していますが、状況に応じて指導員も参加しています。	
	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		・学校と直接のやり取りはしていませんが、利用者や保護者様を通して情報共有をしています。	
	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		・情報提供書を作成して現在の状況をお伝えしています。 ・定期的な保育園訪問を通して情報共有を行っています。	
	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		○		
	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		・児童発達支援センターなどとのやりとりがあるため、相談するときはスムーズに行えるかと感じます。	・助言を受ける機会が少ないため、積極的に助言を求めたり研修に参加するなどしていきたいと思います。
	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。		○		・今後ニーズに合わせて、交流の機会を検討していきます。
	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	○			
	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・毎回フィードバックを行っています。	
	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		・イベントや家族支援を通して保護者支援を行っています。	
保護者への説明等	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		・契約時に説明を行っています。	
	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		・モニタリング等を行うことで利用者様の意向をうかがって支援計画の作成を行っています。	
	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		・児発管を中心に責任をもって説明を行い、同意を得ています。	
	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		・児発管を中心に家族支援や、こまめに子育てサポートの機会などを設けています。	
	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	○		・ママカフェ、きらりカフェを実施しています。	
	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		・対応する体制を整えています。	
	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		・定期的にLINEで発信しています。	・インスタなど、今後定期的に更新していく予定です。
	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・鍵付きのロッカーに保管しています。	
	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		・必要に応じて、お手紙やLINE等を通して意思疎通・情報伝達を行っています。	
	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		・必要に応じて実施の機会を設けたいと思います。
	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		・各種マニュアルをもとに行っています。	
	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		・毎月職員間での訓練を行い、年1～2回ほど利用者様参加型の訓練を行っています。	

非 常 時 等 の 対 応	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	<input type="radio"/>		・基本情報シートを活用して利用者様の状況を確認しています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		<input type="radio"/>		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	<input type="radio"/>			
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	<input type="radio"/>		・必要に応じて作成し、再発防止に向けて話し合いを行っています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	<input type="radio"/>		・委員会メンバーが様々な角度から研修を企画しています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	<input type="radio"/>		・契約時に説明を行い、支援計画に記載しています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	<input type="radio"/>			